

新幹線仙台駅構内で死亡事故!



協力会社(日本電設)社員が犠牲に

国労仙台

No. 2563
2009年9月25日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

肋骨骨折・肺内出血・胸部動脈破裂

09年9月10日(木)1時40分頃、東北新幹線仙台駅構内において、トロッコ線張替作業を行っていた日本電設工業(株)の社員が、旧線の巻き取り作業中に金具から外れたトロッコ線を胸に受け受傷。救急車により病院へ搬送されたが、同日6時20分、死亡が確認された。

新型保守用車による作業中

当日本人は、東北新幹線駅構内上り線において、トロッコ線張替作業のため保守用車(TW2号車・全6両)に乗車し、仮吊り金具(仮ハンガー)を取り付ける作業に従事。作業中にSW3号車(架線巻取車)が何らかの原因により緊急停車ボタンが扱われ緊急停車し、その後再度作業を開始した際、仮ハンガーから旧線が外れ、本人の胸を強打し、保守用車の手摺にはじき飛ばされた。

関係者の話によれば、今回使用していたSW(架線延線・巻取車)は新型で、従来のタイプと違いテンションを掛けながら旧トロッコ線を巻き取るタイプ。これまでは直線区間での作業が主体であり、今回は曲線区間(R500)を含んだ作業であった。トロッコ線が仮ハンガーから外れた原因は、

保守用車が緊急停車した際、巻き取っていたトロッコ線が弛み、その状態から巻き取り作業を再開した際、巻き取りドラムが急回転し、横張力が急激に仮ハンガーに加わり変形し、トロッコ線が外れたとされている。また外れたトロッコ線の横張力は机上計算では1350kgfにも及んだ。

安全対策(仮曲引き取付け)を省略し作業効率優先か

この工法で作業を行う場合、仮曲引きを使用することになっているが、今回の作業では使用しておらず、そのため仮ハンガーに過大な横張力がかかり変形を招いた。仮曲引きを使用した場合、横張力はゼロであり、今回の事故は防げたと言われている。また仮曲引きを省略した要因として、仮曲引きを使用した場合、その取付け、

地方大会十月十八・十九日 組合員の声を大会に持ちよう

取り外しの都度巻き取り作業が中断するため、作業効率を上げるため使用しなかったのではないかと推定される(関係者)。

今後、事故の直接要因や背後要因など徹底的な原因調査と、二度とこのような事故を発生させない対策が求められる。地方本部は電気協議会と協議し、今回の事故について申し入れを行うとしている。

非常事態宣言の最中の事故

08年9月17日、東北本線・黒磯構内において感電死亡事故が発生し、同月25日には八戸線・待浜・陸中夏井間では重機に挟まれ死亡する事故が発生し、会社は非常事態宣言を発していたが、その後も工事・作業等において重大な事故や事象が連続して発生していた。

また仙台支社においても04年10月に山形電車区構内で協力会社の下請け作業員が感電死傷する事故が発生し、05年12月には奥羽本線・赤岩・板谷間において協力会社の下請け作業員が感電死亡、また06年8月22日には新幹線総合車両センターで協力会社社員が車両と乾燥室の扉に挟まれ死亡する事故が発生しており、今回はそれに引き続いての労災死亡事故となった。

婦人部 明るく元気に!

レポート報告

7月4・5日、山形県小野川温泉にて、第19回東日本婦人部学習交流会が開催されました。仙台地本からは横山さん、真砂さん、加藤さんと私(佐藤)が参加。今回は九州闘争団の奈木野昭代さんを講師に招いて、国鉄分割・民営化反対の闘い JR不採用後の闘い 国鉄清算事業団解雇後の闘い この間の闘いを通じて人間として、女性として思うこと、等を話してもらいました。自分たちのこれまでの生き方と照らし合わせ、とても感慨深いものが込み上げてきたと同時に、不採用問題の一日も早い解決の

9999
16121211
第12回執行委員会
地本アスベスト学習会
秋田地本との交流会
第13回執行委員会

「ろばた」が八年連続受賞

東日本本部大会での優良機関紙表彰受賞

国労東日本本部は各地本・支部・分会における機関紙の発行など、教宣活動に功績があった機関紙等の表彰を行っている。地本はその選考基準に基づき検討した結果、以下の6機関の機関紙及び冊子が該当する事を確認し、東日本本部へ表彰申請を行った。その結果、申請の通り以下の機関紙等が第23回東日本本部大会において表彰されたので報告する。

- | | |
|-------------|-----------|
| 名称 | 冊子3冊発行 |
| 発行機関 | 仙台総合車両所支部 |
| 表彰理由 | 特別な雑誌の発行 |
| 優秀表彰 | |
| 名称 | 団結 |
| 発行機関 | 仙台総合車両所支部 |
| 表彰理由 | 年度内44号発行 |
| 名称 | ガンバ組立 |
| 発行機関 | 仙総所支部組立分会 |
| 表彰理由 | 年度内43号発行 |
| 名称 | 分会通信 |
| 発行機関 | 郡工支部貨物分会 |
| 表彰理由 | 年度内37号発行 |
| 名称 | 分会情報 |
| 発行機関 | 郡山駅連分会 |
| 表彰理由 | 年度内30号発行 |
| 名称 | 国労仙台 |
| 発行機関 | 仙台地本 |

最優秀表彰

- | | |
|------|-----------|
| 名称 | ろばた |
| 発行機関 | 東北工事事務所分会 |
| 表彰理由 | 年度内56号発行 |
| 名称 | 郡工情報 |
| 発行機関 | 郡山工場支部 |
| 表彰理由 | 年度内51号発行 |

ために、しっかりと団結をして頑張らなければならぬと思います。意見交換では、子ども達の話や加齢による体調の変化、エルダー制度のあり方や若手社員の関わり方など多岐にわたり活発な討論がされました。特に、エルダー社員からは制度活用に至る過程や現状報告をもらい、後に続く人たちの励みになりました。また、夜は近所の川や森の中へ虫の鑑賞に出かけ、幻想的な雰囲気の中、しっかりとリフレッシュもし、有意義な二日間となりました。【佐藤通信員】

地本への要請など

仙台・宮城野運輸区分会より

要請書
2009年7月4日
仙台・宮城野運輸区分会
執行委員長 菊地 範行

日頃、JR不採用事件・職場労働条件改善の闘いの先頭に立ち、奮闘している事に敬意を表します。

6月26日、当分会書記長伊藤純氏に対し、JR東日本仙台支社は7月13日付けで、ジェイアールテクノサービス仙台への出向発令を通知してきました。

伊藤純氏は、4月23日に乗務員室での喫煙を指摘されてから、2ヶ月以上に亘り特段作業指示もなく、見せしめ的な日勤が続き、6月8日には懲戒処分(戒告)が出され、今後ポーンスカット・昇給カットと更なる制裁が待っています。

現場長は、「支社に対し事象は正しく伝えているが、最初から出向前提であったよつだ」と発言するなど、本人が禁煙するなど「反省し、一目も早い車掌乗務復帰の希望を一切無視するものです。また、今回の出向発令は当分会書記長で、国労運動の重要な任務を担っている伊藤純氏ばかりか、国労組織を破壊するという目的で行われていることは明白であり、国鉄労働組合に対する不当労働行為でありま

すので、以下の点を要請します。

記
1 伊藤純氏に対する出向発令を撤回し、一日も早く車掌乗務へ復帰させること。以上を会社へ申し入れ、誠意のない場合は、第三者機関を含めた闘いの提起を要請します。

宮城県支部より

要請書
2009年7月14日
国鉄労働組合宮城県支部
執行委員長 秋山 正浩

日頃、JR不採用事件の早期解決、職場の労働条件改善はじめとした闘いの先頭に立ち奮闘していることに敬意を表します。

6月26日、仙台・宮城野運輸区分会、分会書記長の伊藤純氏に対し、会社は、7月13日付で、ジェイアールテクノサービス仙台への出向発令を出してきました。

伊藤さんは4月23日、乗務員室での喫煙をお客様から指摘されてから、2ヶ月以上にわたり見せしめ的な「日勤」が続き、6月8日には「戒告」の懲戒処分を受けています。今後もさらなる「制裁」が彼を待ちうけています。本人も喫煙したことを深く反省し、禁煙するなど一日も早く本務に復帰できるよう努力してきました。しかし、その希望

を叶えることはできませんでした。宮城野運輸区の労働実態は、規制が厳しく、精神的に追い込まれた状態で働かされております。精神疾患にも多くの乗務員がかかっている実態もありま

す。労働組合として、こうした実態を早急に改善していく取り組みが大切です。また「機関役員が問題を起したら徹底的に叩け」という会社の姿勢、不当労働行為・組合差別、見せしめ的な配転は絶対に許さな

いという立場に立つことも大切ではないかと思えます。会社とは真正面からぶつかる。そのことが「和解」の内容を守らせることにつながることを思います。そこで、以下の点について要請いたします。

記
1 分会要請に基づく第三者機関の活用を含めた闘いの提起。
2 車掌職場の労働条件改善に向けた団体交渉の強化。

郡山工場支部より

大久保浩氏の通勤手当に関する要請
2009年8月3日
国労郡山工場支部
執行委員長 橋本 守弘

1047名の解雇撤回、職場の労働条件改善、平和と民主主義のために奮闘されている、地方本部の皆

様に敬意を表します。さて、5月1日付で出向に出された大久保浩氏の通勤手当が0円となつていま

す。これについて、オフィスサービスセンターは、自動車での通勤は認められないので、通勤手当は支給されないとしています。地方本部も賃金規定55条の「通勤手当は、最も経済的な通勤に要する費用とし、その認定は、箇所長が行うものとする」という条項により、手当は支払われないという解釈を示しています。

しかし郡山支部としては、住所から郡総まで約36kmを自動車通勤している大久保氏の通勤実態からすれば、支給条件及び範囲を規定する第54条により支給の対象となり、通勤手当の算定基準を決める第55条および、支給額及び支給限度額を定める第56条から、自宅と小野新町駅の間、3.6km分の通勤手当月額2千円が支給されてしかるべきという解釈にいたっています。

郡山支部としては、出向を撤回し大久保・渡辺両氏を本務に戻せしを基本としながらも、百歩譲って、出向に伴う労働条件低下は絶対許さない取り組みを進めていくつもりです。

地方本部におかれましては、大久保氏の通勤手当の扱いについて、再度ご考慮ご検討いただきたくお願い申し上げます。合わせて4月27日付けで提出した「簡易苦情申告書の提出に関するお願い」に

ついでに回答もお願いいたします。以上

小牛田運輸区分会より

分会組合員 佐藤勝雄氏を郡山工場 元職場に戻す取り組み強化の要請について
2009年9月7日
国労小牛田運輸区分会
執行委員長 佐藤 春男

連日の運動と職場に対する指導に感謝申し上げます。標記については、この間、佐藤組合員におかれては6年半もの郡山 小牛田間の通勤を余儀なくされて

います。職場では、遠距離通勤と不慣れた労働環境のなか昨年1月には、業務中負傷(労災認定)しました。また通勤においては郡山駅社員駐車場の制約などもあり、自宅から約7キロを毎朝家族に送ってもらうなど家族を含めた、極めて困難な生活を強いられています。こうしたなか、2003年4月に2名同時に着任した東労組社員は7月1日付で、郡山工場警東派出所に戻りました。このことは、

仙台支社として検修職場要員需給の技術継承施策の遅れを棚上げ、労働者の生活に配慮しないばかりか国労組合員に対する嫌がらせは、5年ローテーション化を提唱しているにも関わらず、さらには誘導担当社員が不足となる実態を承知のうえで、東労組社員のみを

帰す扱いを見るとき、公然と差別人事を繰り返していると思わざるを得ません。運輸区現場では「人事は分らない・機会があれば・意向は支社に伝える」・とした一点張りの対応にあり、つきましては、この際、仙台地方本部として仙台支社を質し、早急に元職場に戻す取り組みの強化を要請いたします。よろしくお願ひ申し上げます。以上

仲間の絆を確認する

9月12日、新庄市内において、国労秋田地方本部と国労山形県支部との交流会が開催された。同支部では分割民営化前後に秋田から強制配転をされた組合員が多く存在し、今なお通勤希望地を秋田に求めている方も少なくない。

こうした状況を受け、秋田への通勤希望が叶うまで、共に支えあい励まし合おうと始まったこの取り組みは、今回で8回目。会は新庄地区協議会若野議長の下で開会し、冒頭同議長は「故

鶴川和雄氏が7月10日業務中亡くなり、実家である横手に無言の帰宅をしたが、その無念を想い黙祷を奉げたい」と提案し、全体の意を受け黙祷を捧げた。秋田地本から瀬下委員長以下13名、仙台地本からは武田執行委員を始めとして19名と東北交運共済から佐藤本部長が参加。久しぶりに仲間と再会した組合員達は大いに語り合い、会は盛況のうち幕を閉じた。

退職のお知らせ
8月31日
荒 貞明さん
岩沼駅連合分会
寺尾 孝一さん
山形連合分会(電力)

長い間お疲れ様でした



第十回地本ゴルフ大会!

期日 九月三十日(水)
八時スタート
場所 仙台南ゴルフ倶楽部

